

能美市壮年団とのタウンミーティング

日 時 令和7年4月20日（日）10:45～11:45

会 場 寺井地区公民館 大ホール

参加人数 25人

1) 開会

2) 市長 市政報告

○令和7年度能美市当初予算

- ・市長選があったことから、令和7年3月議会で継続の事業と能美市誕生20周年事業の予算の承認を受けた。新しい事業等に関する肉付け予算は、6月議会で上程する。
- ・骨格予算ながら、一般会計の総額は過去最高額の282億円である。

○令和7年度事業・施策／方針・目的《骨格予算》

- ・これまで2期8年、事業・施策の7本柱が全て移住・定住の促進につながるように取り組んでいる。
- ・能美市では、自然減を社会増がカバーしており、人口を維持している状態である。

○防災・減災対策の強化

- ・行政の重要な役割は市民の生命と財産を守ることであり、まずは防災・減災対策の強化を一丁目1番地に掲げて取り組んでいく。
- ・令和6年能登半島地震の被害を受けた市道緑が丘東37号線、福岡小学校のプール、美化センターののり面、下水道暗渠等の復旧を進めている。
- ・大雨や地震の被害を風化させないように、防災センターの展示をリニューアルした。

- ・防災士の皆さんと今年度は避難所の運営について研修を重ねていく。
- ・個別避難計画の策定を中山間地域から進めている。
- ・子どもたちを交通事故から守るため、福岡小学校、宮竹小学校エリアで様々な取り組みを行ってきた。今度は辰口中央小学校の周辺を整備する。
- ・化学消防ポンプ自動車、除雪トラックの購入や市内小中学校の防犯カメラの増設を行う。

○インクルーシブシティの深化

- ・デジタル公民館のため、市内の公民館全てにフリーWi-Fiを整備し、多世代交流の拠点となるよう取り組んでいる。
- ・福祉見守りあんしんマップをデジタル化し、情報のアップデートをしやすくした。また、災害時や緊急時のため、電子カルテ化を進めている。
- ・デジタル地域通貨「能美トチポ」を導入した。登録者にポイント付与するとPRしたが、まだ登録数が少ない。
- ・令和7年度はデジタル公民館を更なる多世代間交流の拠点にするとともに、オンライン診療について、根上地区の町内会を新たにモデル地区として選定し、実施していく。
- ・生活支援を目的としたライドシェア「ノルノミ」やスマート物流も実施している。
- ・学校のデジタル化に力を入れており、児童生徒のタブレット持ち帰り比率が全国で3本の指に入っている。先生の働き方改革のため、デジタル採点ソフトを導入する。
- ・健康増進や子育て支援として、様々な補助制度を設けたり、健診の助成率をあげたり、予防接種の種類の拡充を行っている。

○知名度・魅力度の向上

- ・観光や移住、企業誘致を進めるために、まずは能美市の地名や特長を知ってもらうため、知名度・魅力度の向上に取り組んでいる。
- ・能美根上駅の旧駅務室を飲食提供スペースに変え、そこの従業員に電車の乗り降り等のサポートもしてもらえないかと考えている。
- ・大都市圏のデジタルサイネージを使って、能美市のアニメを流そうと計画している。
- ・UIJターンを促進するため、県内の高校生に集まってもらって、市内企業のPRするという事も強化していきたい。
- ・寺井高校への入学希望者を増やし、ひいては能美市の人財を確保しようと、学校給食セ

ンターの給食を寺井高校に提供している。

- ・能美市誕生20周年を迎え、1年を通してイベントや事業を計画している。
- ・20周年を盛り上げるため、昨年に引き続き、ふるさと愛醸成事業を実施する。
- ・のみ応援特典券第7弾の実施、古くなった市内3中学校吹奏楽部の楽器の購入を行う。

○エコシティ能美を創造

- ・能美市はSDGs未来都市に選定され、「ゼロカーボンシティ」宣言をしている。CO₂を2030年までに2013年の排出量の半分にしなければならない。
- ・今年度、カーボンニュートラルの強化年度として、7月の環境フェスタで市民の皆さんに理解と協力をいただきたいと考えている。
- ・CO₂削減には、農業振興も重要であり、デジタルの力を使って強化していく。
- ・能美根上駅の駐車場を拡張し、電子マネーやカードでも料金の支払いを可能にした。

○持続可能な行財政改革

- ・骨格でありながら、過去最高額となった理由の一つに人件費がある。国の方針で会計年度職員の給与が上がった。また標準報酬システムの導入や施設の改修費用等もあげられる。
- ・市役所では、ペーパーレス、フリーアドレスに取り組んでいる。
- ・災害復旧、災害対策、老朽化対策、強靱化・環境に優しいものに変える等でも歳出が膨らんでいる。全ての事業・施策を見直し、スクラップ・アンド・ビルドして、財源の確保と市民サービスの向上を図る。
- ・第3次総合計画の策定を進めていかなければならない。市民満足度調査等をもとにスクラップ・アンド・ビルドを重ね、計画を策定し、向こう10年間の能美市の進むべき方向を皆さんと共有しながら実施していきたい。

3) 質疑応答、意見交換

質問・意見1

【参加者】福島町の商業施設や辰口地区の道の駅の計画について、進捗状況を教えてほしい。

【市長】まず、福島グランパークについては、既に企業が土地を取得しているが、令和6年能登半島地震や資材の高騰等があって、いろいろ取り組んでいるが、キーテナントが決まっていない状況であるとのことである。福島グランパーク内の企業からも早期建設の要望を受けており、皆さんの期待に副えるよう誘致を行っていききたい。また、辰口フラワーハウスの跡地も同じような状況でなかなか決まっていない。この場所はいしかわ動物園や辰口丘陵公園が近くにあり、また、加賀産業開発道路沿いでは、白山市に大きなショッピングゾーンがあるが、そこから加賀市に入るまでお店がないので、絶好の場所だと思っている。次回のタウンミーティングでは、皆さんに良いご報告ができればよいと考えている。

質問・意見2

【参加者】毎年、市と協力して海岸清掃を行っているが、清掃活動があまり市で取り上げられていないという意見が昨年あった。ぜひ今年は井出市長に参加いただき、より良い清掃ができるよう市と協力してやっていきたい。

【市長】海岸清掃で団員の皆さんが自主的に軽トラを出しているという話をお聞きし、昨年度から市で軽トラのレンタル費用を負担する等のフォローをさせていただいているのではないかと思います。昨年、私は海岸清掃に参加できなかったが、毎年市の職員は参加させていただいている。今年の海岸清掃は、7月6日の予定だったと思うが、県民スポーツ大会の主会場が今年は能美市となっており、前日の土曜日が開会式で、翌日もスポーツイベントが重なっている。なんとか顔を出したいが、応援で行けない可能性もあるので、その時はお許しいただきたい。

質問・意見3

【参加者】今後、どのように寺井高校の存続を考えていかなければならないか。

【市長】進学先を選ぶ際の決め手を考えると、まず一つは、卒業後の進路である。進学先や就職先が良いということが基準であると思うので、寺井高校卒業生の就職先の後押しをしたいと考えている。幸い能美市には、世界に名だたる上場企業がいくつもあり、また、市内には魅力的な会社も多くあるので、寺井高校の卒業生を採用してもらえるように取り組んでいきたい。さらに、寺井高校の敷地内に特別支援学校が設置されることになり、寺

井高校生が世の中にはハンデを持った人がいるということを理解し、共存・共栄するために、どのように生きていけばよいか学んでもらう機会になるのではないかと。新たな寺井高校の一面となると思うので、応援していきたい。

質問・意見 4

【参加者】なんでも鑑定団が大好きなので、能美市での開催は嬉しい。なんでも鑑定団を観覧する方法などは、広報紙に載るのか。また、どのように応募すればよいのか。

【市長】テレビ局からまだ具体的な話は来ておらず、収録日と盛り上げるためにお宝をたくさん集めなければならないということしかわかっていない。情報が入れば随時、市民の皆さんにお伝えしていく。

質問・意見 5

【参加者】令和7年度の壮年団の事業計画で、市政懇談会と懇親会を予定している。市長と共に壮年団の課題を解決していきたい。

【市長】行政がどのようなフォローをさせてもらえればよいのか、ざっくばらんにお話ししたいと思っている。能美市政の運営には、皆さん壮年団もそうであるが、町会・町内会の存在がとても大きい。町会・町内会の組織があるから、能美市の行政や市民の生活を守れると考えているので、壮年団や青年団、女性会等が縮小すると、町会・町内会の運営に支障が出るのではないかと心配している。町会・町内会は様々なお付き合いがないと組織として成り立っていかない。例えば、壮年団等で一緒に活動し、いろいろ苦楽を共に経験したので、町の運営も一緒にやろうという気持ちに繋がるのではないかと。このような理由からも、壮年団の存在は能美市にとっても大変大きいので、皆さんのご理解・ご協力を得ながら30年、50年続く能美市を目指していきたい。

4) 能美市壮年団 団長 挨拶

5) 閉会